

おきむら

興村脳神経外科クリニック通信

＜第48号＞ (毎月15日発行) H28. 12月



乾燥しておりますので
風邪等にご注意下さい。
本年も宜しくお願い致します。

皆様いかがお過ごしですか？

興村脳神経外科クリニック通信第48号をお届けします。バックナンバーは
当院のホームページからも閲覧できますのでご利用ください。

<http://www.okimura-nouge.com/>

毎年12月の通信はあるサッカーチームの優勝の話を書こうと予定している
のですが、今年もお蔵入りなので、話題を変えます(来年こそはこの話題を
使いたい)。私は、スポーツ選手を含め、ある「技術」を持った「専門家」の
方々のコメント、インタビューなどを聞くのが好きで、個人的には次のよう
に分類しています。①「技術」に長け、聞き手に理解と楽しさを与えること
ができる「話術」を持っている尊敬できる方②「技術」は優れているけど「話
術」は苦手な方③大した「技術」もないのに「専門家」のふりをして他人を
批判するような「話術」のみで存在しているような方、こんな事を考えなが
ら「専門家」たちのコメント、インタビューを聞いていると同じ言葉を聞いて
いてもより興味深くなり、自省にも役立つような気がしています。皆様も
試してみませんか？

◇健康診断のお知らせ◇

当院では、健康診断を実施しており
ます。

予約制となりますので、ご希望の方
は受付へお申込みください。

検査項目等詳細は、別紙
“健康診断のご案内”をご覧ください。

※H28年3月1日より料金が
変わりました

今月の話題は『技術』と『話術』です。

医者は『専門家』ですからその『技術』を生涯勉強し磨くことは必須で、『技
術』もないのに『話術』だけで仕事をしようとするのは論外です。このよう
な方はそもそも『専門家』ではありません。一方で、ドラマなどでは『腕』
のいい医者と『愛想』のいい医者の二択が面白おかしく描かれることがあり
ます。現実の世界でも『技術』は優れているけれども患者さんに対する『話術』
が今ひとつの先生にお目にかかったこともあります。若い頃の自分も『技術』
を磨くことに多くの精神が集中し、『話術』をおろそかにしていたような時期が
あり反省をしています。最近ではそのプラスアルファの『話術』を磨くことが
とても重要であると考えています。しかしながら、この『話術』はなかなか難
しく、小手先のテクニックだけではどうにもならないような気がします。やは
り話をする相手に如何にわかっていただくかを考える努力をしなければなりま
せん。『腕』か『愛想』ではなく、『腕』も『愛想』もです。医療従事者、事務
職に関わらずその『腕、技術』の向上を目指すのは当然としながら、更なる『愛想、
話術』により患者さんに親しんでいただける、そんなクリニックをスタッフととも
に目指していきたいと思っています。

◇当院からのお願い◇

◆月初めには、保険証の提示を
お願いいたします。

70歳以上の高齢受給者証をお
持ちの方は、保険証と一緒にご
提示ください。

◆お電話にてご予約される際
は、まず診察券番号とお名前を
お伝えくださいますようお願い
いたします。

◆お引越し等で住所・電話番号
が変更になった際は、お知らせ
ください。

今後とも、クリニックならびにクリニック通信にご指導いただければ幸いです。

興村脳神経外科クリニック